

市内で火災が多発しています！！



あなたの家は大丈夫ですか？ 自分は大丈夫だと思っていないですか？

登別市内では令和3年に入り、7月8日までに建物火災が7件、車両火災が3件、その他火災が5件発生し、合計して15件の火災が発生しています。

この件数は昨年1年間の発生件数を5件上回る件数であり、この多発している火災を防ぐには市民の皆様一人一人のご協力が必要不可欠です。

たばこやごみ焼き等を重点に火災防止6つのポイントを裏面に載せていますので家族みんなで確認しましょう。

そして、これを機に普段以上に防火の意識を強く持ち、火災の無い明るい街づくりにご協力下さい。



登別市消防本部

85-9611

火事と救急は119番

登別市消防署

85-2551

火災等の情報案内は88-1515番



裏面もお読みください。

家族みんなで確認しましょう！

火災防止6つのポイント

灰皿はきれいに使っていますか？寝たばこはしていませんか？



山盛りに溜めた吸殻の中には、完全に消えていない火が残ってしまいがちです。気づかないままゴミ箱に捨ててしまうと火災の原因になります。灰皿はいつもきれいに使用して、吸殻をためることなく水を使って適切に処理しましょう。そして寝たばこは大変危険です。また、たばこのポイ捨ても野火火災や林野火災を招く可能性がありますので絶対にやめましょう。

ガスコンロに火をつけたままその場を離れたりしていませんか？



ガスコンロは私達の日常生活には欠かせないものですが、住宅火災の原因で毎年上位にもなっています。そのほとんどが使用者の不注意によるものです。ガスコンロ使用時にその場を離れる際には必ず火を消してください。さらに燃えやすいものは近くに置かず、コンロ周りを清潔に保つことを心掛けてください。

ストーブの近くに燃えやすいものは置いていませんか？



布団、衣類、雑誌などの可燃物がストーブの近くに置いてあると、出火する恐れがあります。ストーブ周辺は整理整頓し、お出かけの際の火の元のチェックを忘れずに行うことを心掛けましょう。さらにストーブの危険性を理解し、正しい使い方をすればストーブからの出火は防ぐことができます。

タコ足配線はしていませんか？



「たこ足配線」とは、テーブルタップのようなたくさんの挿し込み口があるコンセントに、複数の電気機器が接続されている状態のことをいいます。多くのコンセントでは定格電流が15アンペアとなっていますが、たこ足配線によって定格電流を上回る量の電力を使用すると熱を発生するようになり、最悪の場合は発火して火事に繋がってしまうおそれがあります。たこ足配線を行わないようにし、テーブルタップはこまめに掃除をしましょう。

ごみ焼きを行っていませんか？



野焼き（廃棄物の焼却）については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、一部の例外を除き、原則禁止です。ゴミ等は野外で焼却すると、煙、すす、悪臭により周囲の人に迷惑をかける行為となります。お互いが快い環境で過ごすためにも、ごみは絶対に野外で焼却せずに、適正に処理しましょう！

消毒用アルコールの近くで火を取り扱っていませんか？



新型コロナウイルス感染症の発生に伴い消毒のため消毒用アルコールを使用する機会が増えていますが、消毒用アルコールを使用する際は火気の近くで使用しないように注意し、保管場所は直接日光が当たる場所や高温となる場所は避けて下さい。室内の消毒や容器詰め替えなどによりアルコールの可燃性蒸気が滞留する恐れがある場合には通気性の良い場所や換気が行われている場所で行いましょう。また密閉した室内で多量の消毒用アルコールの噴霧を行うことは危険です。